

進化論

キリンの首は、なぜ長い

「キリンのラマじいと、近所のダーくんが、キリンの首について話しています。少しのぞいてみましょう。」

ラ＝ラマじい ダ＝ダーくん

ラ 「ダーよ。お前、なんでそんなに首が長いんや」

ダ 「それは生まれつきだよ」

ラ 「ずるいわ。わしは毎日努力しとるのに」

ダ 「努力して、長くなった？」

ラ 「……………ちよつとは長なった気がする」

ラ 「ええか。わしがこうして毎日のばしとつたら、のびた首が子どもに伝わる。子から孫、孫からひ孫と続くうちに、うちの家系はみんな首が長くなるんや」

ダ 「それはないよ。ぼくは生まれてきた時から長かったんだよ。のびたからじゃないよ」

ダ 「ラマじいがどれだけ首をのばしても、生まれてくる子はラマじいと同じ首の短いキリンだよ」

ラ 「ほな、わしの努力はどこへ行くんや」

ダ 「ラマじいの体には残るよ。でも子どもには残らないよ」

ラ 「でも、毎日走ってるシマウマの子どもは、足が速く生まれるやろ？」

ダ 「それは生まれつきだよ。親が走ったからじゃないよ」

ラ 「高い木の葉を、鼻をのばして食べてるゾウの子どもは、鼻が長く生まれるやろ？」

ダ 「それも生まれつきだよ」

ラ 「……………ほな、なんのために今日もゾウは鼻をのばしとるんや」

ダ 「今日の葉を食べるためだよ」

ダ 「それにラマじい。首の長いキリンが増えたのは努力したからじゃないよ」

ダ 「低い木の葉は、みんなが食べるから先に無くなったんだ。残ったのは高い木の葉だけだったんだ」

ダ 「高い木の葉を食べられた首の長いキリンだけが生き残って、子どもを残したんだよ。その子も生まれつき首が長かったんだよ。それが何万年も続いたんだよ」

ダ 「ラマじい。首をのばす努力をして、何年？」

ラ 「三十年や」

ダ 「……………ぼく、五才だよ」

この二つの考えを言ったのは人間の学者です。のびた首が伝わる説がラマルク、生まれつき説がダーウィンでした。

ラマルクの答えは、まちがっていました。きたえた結果は、子どもの元になる部分まで届かないからです。それまで生き物は、生まれた時のままで変わらないと信じられていました。「生き物は変わる」。それを初めて言ったのがラマルクだったのです。



選択

チーターの足が速い理由を考えてみましょう。次のうちラマじいと同じ考え方はどれですか？選んで○をつけましょう。

- ① 毎日走るうちに足が速くなり、その速さが子に伝わった
- ② 生まれつき足の速いチーターが生き残り、子も速かった
- ③ 足の速いチーターが、おそいチーターに走り方を教えた

記述

あとの10個から言葉をえらんで（ ）に入れ、文章全体をまとめましょう。

キリンのラマじいは、毎日首を（ ① ）努力をしていました。そして、そののびた首が（ ② ）に伝わると考えました。けれども近所のダーくんは、（ ③ ）首の長いキリンだけが高い木の葉を食べることができて生き残り、その子も首が長かったと考えました。正しかったのは（ ④ ）の考えです。この二つの考えを言ったのは、（ ⑤ ）とダーウィンという人間の学者です。ラマルクの答えはまちがっていました。『生き物は（ ⑥ ）』と初めて言ったのはラマルクでした。

のばす ちぢめる 子 親 生まれつき ダーくん
ラマじい ラマルク 変わる 変わらない

漢字

漢字に直して書きましょう。

(1) うたがう

--	--	--

(2) みとめる

--	--	--

(3) こきゅう

--	--	--

こたえ

進化論

選択 せんたく

①

①がラマルクの考え（使ったところが育ち、それが子に伝わる）

記述

①のばす

②子

③生まれつき

④ダーくん

⑤ラマルク

⑥変わる

漢字

(1)疑う

(2)認める

(3)呼吸